

2010年4月1日

# 外国報道関係者の手引き

～日本で円滑な取材を行うために

**外務省  
国際報道官室**

# 目次

- ・ はじめに . . . . . 3
- ・ 外務省が提供している主なサービス . . . . . 4
- ・ 外務省の定例記者会見 . . . . . 5
- ・ 外務省の定例記者会見（外国メディア向け） . . . . . 6
- ・ その他の情報発信 . . . . . 7
- ・ インタビューへの対応 . . . . . 8
- ・ 外国記者登録証の発行 . . . . . 9
- ・ （財）フォーリン・プレスセンター . . . . . 10
- ・ （参考資料1）関係機関連絡先 . . . . . 12
- ・ （参考資料2）官邸での取材について . . . . . 15
- ・ （参考資料3）日本外国特派員協会（FCCJ）と  
在日外国報道協会（FPIJ） . . . . . 16

本手引きの内容に関するお問い合わせ先  
外務省国際報道官室  
電話：03-5501-8134（直通）

## はじめに - Welcome Remarks -



Mr. Kazuo Kodama  
Press Secretary of Ministry of Foreign Affairs

ようこそ日本へ。

インターネットが普及し、誰もが日本に関する情報を発信できる時代を迎えております。逆説的ですが、そうであればこそ、プロの外国ジャーナリストの方々が、それぞれの知見・経験に基づき、自分の目で日本取材して、それを発信することの意味は益々高まっていると感じています。外務省外務報道官組織では、外国から日本にジャーナリストとして赴任される方々が、日本で円滑に取材を行うことができるように、微力ながら様々なお手伝いをさせていただいております。本手引きは、そのような外国ジャーナリストの方々が日本、特に外務省をはじめとする公的機関取材するに当たり、有益な情報を取りまとめたものです。ご一読の上、日本での取材に役立てて頂ければ幸いです。

2010年4月1日 外務省 外務報道官 兒玉 和夫

兒玉和夫

## - 外務省の提供している主なサービス-

1. 外務大臣他による記者会見・ブリーフィング等を通じた情報発信

P5へ

2. インタビュー依頼、コメント依頼に対する対応

P8へ

3. 外国記者登録証の発行

P9へ

4. (財)フォーリン・プレスセンター (FPC) を通じた取材支援

P10へ

## 外務省の定例記者会見（日本語）

外務省では、月曜日～金曜日まで毎日、記者会見を行っています。外国記者※<sup>1</sup>の方も出席・質問※<sup>2</sup>が可能です。

月 福山副大臣会見  
火 岡田大臣会見  
水 外務報道官会見  
木 武正副大臣会見  
金 岡田大臣会見

時間：15時から※

場所：外務省会見室（南庁舎3階）

※公務等をやむを得ず開催時間を変更する場合があります。（後述の「外国記者登録証」所持者には、日々最新日程をご案内しています。）

※1 （社）日本外国特派員協会（FCCJ）のレギュラーメンバー及び外国記者登録証を保持する方

外国記者登録証を所持しない方は、外務省受付での所定の手続き及び省員のエスコートが必要となります。

※2 これらの会見は日本語で行われるため、質問も日本語で行う必要があります。

# 外務省の定例記者会見（外国メディア向け）

外務省では、前頁の会見に加えて、外国記者※<sup>1</sup>を対象として、外務副報道官による記者会見を週2回行っています。

## 1. 日本語による会見

時間：水曜16時30分から

場所：フォーリン・プレスセンター（FPC）※<sup>2</sup>

※<sup>2</sup>FPCの場所等詳細はP10及びP12をご参照ください

## 2. 英語による会見

時間：木曜13時30分から

場所：外務省会見室（南庁舎3階）

※<sup>1</sup>（社）日本外国特派員協会（FCCJ）  
のレギュラーメンバー及び  
外国記者登録証を所持する方

外国記者登録証を所持しない方は、外務省受付での所定の手続き及び省員のエスコートが必要となります。

## その他の情報発信

### 英文プレスリリースの発出

外務省の報道発表を英訳し、外国記者登録証を保持する外国記者の方にメールで配信しています。

### ブリーフィングの実施

外国記者の方を対象に、要人往来をはじめとする主要外交行事に際し、事前ブリーフィングを英語（必要に応じ日本語）にて実施しています。

### 各種照会への対応

外交行事の取材要領に関するお問い合わせ等、外国記者の方の取材に関連する照会には、国際報道官室取材協力班が対応します。

### 外務省ホームページ

大臣会見（動画・テキスト）、二国間会談等の概要、地域別・事項別の外交政策等、外務省ホームページ（<http://www.mofa.go.jp>）において多種多様の情報を発信しております（英語ページもあります）。

# インタビューへの対応

## 政府要人へのインタビュー依頼の受付

外務大臣をはじめとする政府要人※へのインタビュー依頼は、国際報道官室取材協力班にて受け付けております。

※外務省以外の各省庁幹部へのインタビュー依頼については、それぞれの省庁で対応しております。

## 個別案件に関するコメント依頼への対応

日本外交に関係する個別案件に関し、外務省としてのコメントを必要とされる外国記者の方に対し、外務副報道官、又は国際報道官がお答えします（窓口は国際報道官室取材協力班）。

## 外務省オープンハウスの開催

その時々で注目されている外交関連の話題に関し、外国記者の方々を外務省にお招きし、担当部局幹部がバックグラウンドブリーフィング等を行う「外務省オープンハウス」を随時実施しております。

# 外国記者登録証の発行

外務省では、日本に常駐する外国報道機関記者の取材活動を支援するために、「外国記者登録証」を発給しています。円滑な取材のため、外国記者登録証の申請・所持をお勧めします。

## 外国記者登録証 のメリット

- ・ 外務省で行われる会見出席の際の事前登録、省員のエスコートが免除されます。
- ・ 英文プレスリリース、会見案内等の各種情報を受け取ることができます。
- ・ 外務省以外の省庁の記者会見への参加が認められます。
- ・ 国会での取材、総理官邸での取材のための諸手続の一要件となっています。

## 登録証発給の基本要件

- ①日本国外に本社を置く報道機関と、
- ②雇用関係、または定期的な契約関係を持ち、
- ③取材その他の報道上の活動を行う職業記者

※その他、在留資格上の制限があります。

- ※申請の受付はフォーリン・プレスセンター(FPC)で行っています。
- ※外国記者登録証制度についてのお問い合わせは、国際報道官室取材協力班まで。
- ※有効期限は1年間です。更新をお忘れなく。

## (財) フォーリン・プレスセンター

(財) フォーリン・プレスセンター (FPC) は、外務省の委託により、外国記者の方々の取材活動を支援しています。積極的にご利用ください。

### 個別取材活動の支援

外国記者が日本を取材する際、①取材テーマに関連する情報提供、②テーマに応じた取材先選定のためのアドバイス、③インタビュー、撮影等のアポイント取り付け、④通訳、撮影クルー、機材等の手配に関する情報提供、等の支援を行っています。

### プレス・ツアー

在京外国特派員を対象に、日本の政治、経済、社会情勢等を取材するために日本各地を訪問するプレス・ツアーを年10～15回程度企画・実施しています。最近では、山梨県のクリーンエネルギー導入推進、野菜工場や輸出拡大に向けた日本農業の新たな取り組み等をテーマにしたツアーを実施しました。

### プレス・ブリーフィング

外国記者の方等を対象に、日本の政治、経済、社会等に関する重要事項を取り上げ、有識者や政府関係者によるブリーフィングを随時実施しています。本年1月には、日本航空が会社更生法適用申請を行ったその日に、前原国土交通大臣が緊急会見を行いました。

### ウェブサイトを通じた情報発信

FPCのウェブサイト (<http://fpcj.jp>) では、取材に役立つ連絡先一覧 (FPCJ Media Directory)、各種会見・ブリーフィングの記録、日本の主要紙の論調紹介 (Japan Brief) 等、豊富な情報を掲載しています。

## 参考資料 1 : 関連機関連絡先

### 外務省

〒100-8919 千代田区霞が関2-2-1

・代表番号: 03-3580-3311

・URL: <http://www.mofa.go.jp>

- ・国際報道官室取材協力班:  
03-5501-8000(ダイヤルイン)  
内線 5851又は3181



- ・報道課(大臣会見、大臣出張への同行に関する問い合わせ):  
03-5501-8131(直通)
- ・大臣会見出席の事前登録:  
[houdouka-touroku@mofa.go.jp](mailto:houdouka-touroku@mofa.go.jp)

## フォーリン・プレスセンター（FPC）

〒100-0011 千代田区内幸町2-2-1  
日本プレスセンタービル 6階

- ・代表番号：03-3501-3401
- ・FAX番号：03-3501-3622
- ・URL：<http://fpcj.jp>



- ・個別取材活動の支援についてのお問い合わせ  
→FPCホームページ 個別取材協力サービス申込  
フォーム

(日本語)

[http://fpcj.jp/old/j/mass/assistance\\_form.php](http://fpcj.jp/old/j/mass/assistance_form.php)

(英語) [http://fpcj.jp/old/e/mass/assistance\\_form.php](http://fpcj.jp/old/e/mass/assistance_form.php)

→メディア・リレーションズ課 03-3501-3405, 5070

- ・プレス・ツアーについてのお問い合わせ

[ma@fpcjpn.or.jp](mailto:ma@fpcjpn.or.jp)

メディア・リレーションズ課 03-3501-3405, 5070

- ・プレス・ブリーフィングについてのお問い合わせ

[cp@fpcjpn.or.jp](mailto:cp@fpcjpn.or.jp)

総括企画課 03-3501-5251

- ・外国記者登録証の申請についてのお問い合わせ

[cp@fpcjpn.or.jp](mailto:cp@fpcjpn.or.jp)

総括企画課 03-3501-5251

# 公的機関の取材窓口（総理官邸、国会）

## 総 理 官 邸

- 官邸における会談、記者会見の取材等に関する問い合わせ

電話:03-3581-0101(代表)  
官邸報道室

- 内閣副広報官による定例外国プレス会見等に関する問い合わせ

電話:03-3581-0101(代表)  
内閣広報室

## 国 会

- 衆議院の取材に関する問い合わせ

衆議院事務局庶務部広報課広聴係  
電話:03-3581-5111(代表)

- 参議院の取材に関する問い合わせ

参議院事務局庶務部広報課報道調整係  
電話:03-5521-7475(直通)

# 各府省の取材窓口

内閣府	大臣官房政策評価広報課報道室	03-3581-0949
	大臣官房政策評価広報課報道係	03-3581-3648
総務省	大臣官房政策評価広報課広報室	03-5253-5172
法務省	大臣官房秘書課広報室	03-3580-4111 (代表)
外務省	大臣官房国際報道官室	03-5501-8134
財務省	大臣官房文書課広報室	03-3581-2836
文部科学省	大臣官房総務課広報室	03-5253-4111 (内線2173)
厚生労働省	大臣官房総務課広報室	03-3595-3040
農林水産省	大臣官房総務課報道室	03-3502-5514
経済産業省	大臣官房政策評価広報課広報室	03-3501-1619
国土交通省	大臣官房広報課報道担当	03-5253-8188
環境省	環境省地球環境局総務課	03-5521-8243
防衛省	大臣官房広報課国際広報室	03-3268-3111 (内線20292)

## ● 定例会見

**官房長官会見** ※官邸記者クラブ会員(オブザーバー会員を含む)であれば参加可能

**総理ぶら下がり** ※官邸記者クラブ会員(オブザーバー会員含む)であれば参加可能

**内閣副広報官による定例外国プレス会見**  
※外国記者登録証所持者であれば参加可能

## ● その他の官邸での行事等

取材枠の制限がある場合、官邸報道室が主に在日外国報道協会(FPIJ)との間で調整を行っています。

官邸での取材に関する問い合わせ  
官邸報道室  
電話:03-3581-0101 (代表)

## 参考資料 3 : 日本外国特派員協会(FCCJ)と在日外国報道協会 (FPIJ)

### FCCJ

日本外国特派員協会 (FCCJ)は特派員と国内外の記者等が個人単位で入会する職能団体であり、1945年の発足以降60年以上の歴史を持つ団体です。

日本記者クラブと並び、講演や記者会見の場を提供することを通じ、世界に向けた発信の場としてその役割を果たしています。

〒100-0006 千代田区有楽町1-7-1

有楽町電気ビル北館 20階

URL : <http://www.fccj.or.jp/>

電話 : 03-3211-3161

FAX : 03-3211-3168

### FPIJ

在日外国報道協会は、日本に駐在する外国報道機関をメンバーとし、協会として取材先と交渉・調整し、会員報道機関に種々の便宜を図ることを目的としています。例えば、代表取材の選出等の際には、FPIJが所要の調整を行っています。

※FPIJに関する問い合わせもFCCJへお願いします。